

## 熱中症による救急搬送状況

### 救急企画室

#### 1 はじめに

7月中旬からの梅雨明け地域の広がりとともに、全国各地で最高気温が35度以上の猛暑日が観測されるようになりました。気温の上昇に伴い、熱中症による救急搬送人員数も増えていきます。熱中症の症状は、めまいや筋肉痛等の軽度のものから、頭痛や吐き気等の中等度のもの、また意識障害や腎機能障害、血液凝固異常を起こし、死に至る重度のものまで様々です。外界の環境に影響を受けやすく、また誰にでも起こりうる病態です。しかし、適切な予防対策を講じれば、その発症を防ぐことができます。

この度、本格的な夏が到来し、引き続き熱中症対策が必要とされるこの時期に、皆様の熱中症に対する関心を高め、積極的な予防啓発活動に努めていただくことを目的として、今年の熱中症による救急搬送状況について、最新の速報値（7月25日時点）から報告します。

#### 2 熱中症による救急搬送状況（週別推移）（図1）

5月上旬（5月2日～8日）には、400人以上の救急搬送人員数がみられ、5月中旬以降には、最高気温30度以上の真夏日が観測される地域が増えるようになり、マラソン大会や運動会等の屋外イベントで少年の熱中症

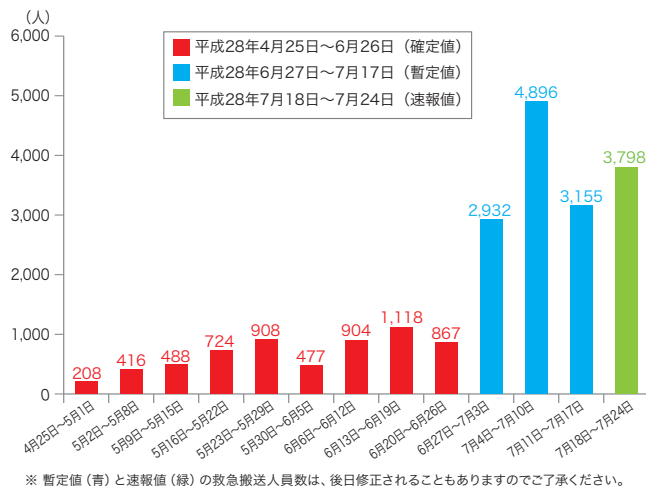


図1 熱中症による救急搬送状況（週別推移）

による救急搬送事案がみられました。6月は、梅雨が明けた沖縄県において救急搬送人員数が増える状況がみられました。7月に入り、いくつかの都道府県で猛暑日が観測され、6月27日～7月3日に2,932人（対前年比約5.4倍）、7月4日～10日は4,896人（対前年比約3.7倍）となりました。また、最新の速報値（7月18日～24日）は、3,798人となりました。急激に気温が上昇するような環境の変化に、体の順応が追いつかなかったことも、救急搬送人員数の増加の要因のひとつと考えられます。

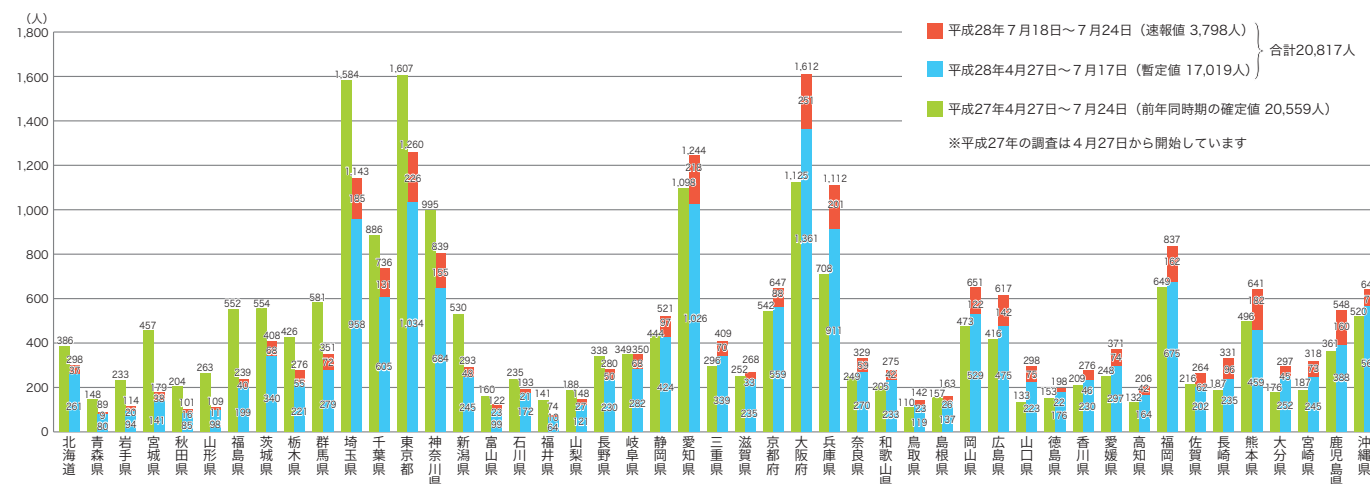


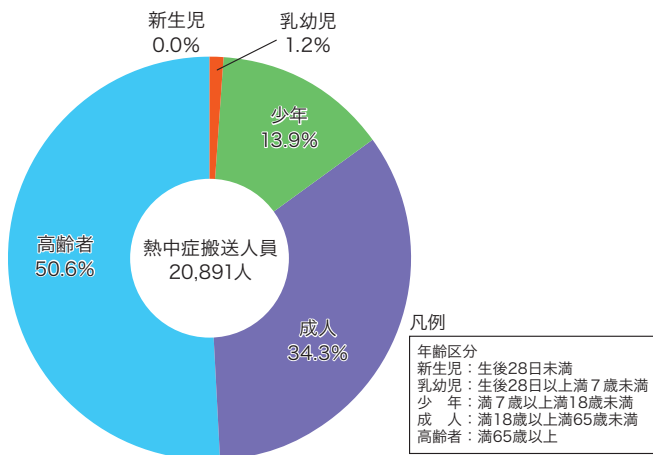
図2 熱中症による救急搬送人員数（都道府県別昨年比）

### 3 熱中症による救急搬送人員数の総数 (都道府県別昨年比) (図2)

今年の第1週から第13週(4月27日から7月24日)までの熱中症による救急搬送人員数は20,891人です。4月27日から7月24日までの期間で昨年と比較すると、今年の方が258人多くなっています。

### 4 年齢区分ごとの救急搬送人員数 (図3)

今年の第1週から第13週までの熱中症による救急搬送人員数の合計20,891人のうち、高齢者が10,572人で最も多く、次いで成人7,157人、少年2,909人、乳幼児253人となっています。救急搬送人員数の半数近くを高齢者が占めます。高齢者は暑さやのどの渇きを自覚しにくいなど体の変化に気づきにくいことが原因のひとつと考えられます。高齢者には、周囲の方がこまめに声をかけて、水分補給や暑さ対策などの予防行動を促すことが大切です。

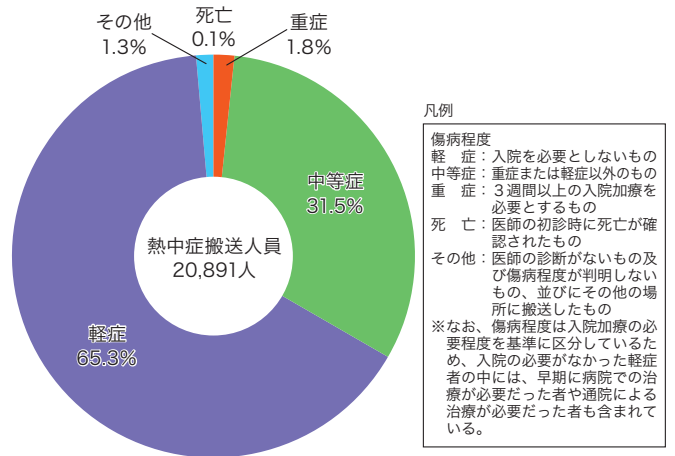


※熱中症の搬送人員に対する割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

図3 年齢区分別搬送人員数

### 5 傷病程度ごとの救急搬送人員数 (図4)

今年の第1週から第13週までの傷病程度ごとの救急搬送人員数の合計20,891人のうち、軽症が13,634人で最も多く、次いで中等症6,581人、重症372人、死亡24人となっています。熱中症の症状は、年齢や持病など傷病者の背景の違いにも影響を受け、刻々と変化をします。中には、短時間で重篤な状態に陥る場合もありますので十分に注意が必要です。



※熱中症の搬送人員に対する割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

図4 傷病程度別搬送人員数

### 6 熱中症予防の啓発について

熱中症予防の啓発は、暑い日や時間帯、熱中症予防を訴えたい対象者を意識した啓発が重要です。それらを踏まえて、消防庁では、消防本部や熱中症予防を啓発する関係機関が熱中症予防の啓発活動を積極的に行っていたらよい熱中症予防啓発コンテンツを作成しました。1つ目は、熱中症予防のポイントや応急手当等を分かりやすく説明した予防啓発ビデオ(5分と15秒)です。2つ目は、全国消防イメージキャラクターの「消太」を活用した熱中症予防を呼び掛ける予防啓発イラスト(ぬり絵もあり)です。3つ目は、暑い日や時間帯に、消防車両や防災無線等を使い効果的な予防啓発活動ができるように作成した予防広報メッセージです。これらのコンテンツを活用し、積極的に予防啓発活動に取り組んでいる消防本部がみられます(参考情報)。

### 7 おわりに

熱中症を理解し、予防行動をとることで、熱中症は発症や重症化を防ぐことが可能です。また、周囲の気遣いで熱中症弱者といわれる高齢者や子供を守ることができます。

消防庁ホームページでは、熱中症による救急搬送状況の速報値を毎週発表するとともに、熱中症予防啓発コンテンツを掲載しています。全国の消防本部においても、関係機関と連携を図りながら、これらのコンテンツを利用して、地域の住民に対して熱中症予防の啓発活動を積極的に展開していただけることを期待します。

【参考情報】 熱中症予防啓発コンテンツを活用した取組事例

《鹿児島市消防局》 熱中症予防啓発ビデオとイラストを、鹿児島市役所のホームページ「熱中症を予防しよう！」に掲載しています。

**熱中症を予防しよう！**

「熱中症は予防できる」

毎年、この季節になると熱中症が発生しやすくなります。鹿児島市でも、熱中症で救急搬送される方が増えてきております。下記の動画を参照していただき、「熱中症は予防できる」を合言葉に、暑い夏を乗り切りましょう。

熱中症予防広報動画

- 15秒バージョン




- 5分バージョン（推奨）



《下関市消防局》 熱中症予防啓発ビデオとイラストを、下関市役所のホームページ「熱中症予防に関するご案内」に掲載しています。

**熱中症予防に関するご案内**

公開日: 2016年7月19日

ツイート いいね! 0 G+ 0 チェック

(お知らせ)  
市民の皆様へ

熱中症予防のため、総務省消防庁 救急企画室が『熱中症情報』を公開いたしました。

熱中症に関する「予防啓発ビデオ」「予防啓発イラスト」「予防広報メッセージ」が掲載されています。

是非ご覧いただき、熱中症予防に努め、健康な毎日を送ってください。

リンク

▶ 『熱中症情報』(予防啓発ビデオほか) (総務省 消防庁HP)



消防庁熱中症情報 [http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9\\_2.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html)

※熱中症予防啓発のコンテンツは、このURL内に掲載しています。

問い合わせ先

消防庁救急企画室 森川、勝森、足立  
TEL: 03-5253-7529